

地域にひろがる
社会福祉法人の取り組み



翡翠会 統括施設長の大越将司さん



社会福祉法人 翡翠会

主な事業

- 障害者支援施設 ●障害者グループホーム
- 生活介護事業所(2か所) ●放課後等デイサービス
- 認知症高齢者グループホーム ●小規模多機能型居宅介護事業所

法人本部 / 千葉県大網白里市大網5347 山武みどり学園
お問い合わせ TEL.0475-72-9806
HP <http://hisuikai.or.jp>

●認知症カフェを市との協働事業で開催

社会福祉法人翡翠会は、平成12年に設立され、山武地域を中心に障害者福祉施設、高齢者福祉施設を運営しています。

3年ほど前、障害者のグループホームを新設する際、地元で反対に遭ったことから、統括施設長の大越将司さんは「私たち法人の取り組みは、まだまだ地域に浸透していない」と痛感し、何か地域の方々に還元できる事業を立ち上げたいと考えた結果、認知症カフェを市との協働事業という形で始めることになりました。

平成29年度から、小規模多機能型居宅介護事業所「かきつばた」において「カフェかきつばた」を月2回実施。ランチを500円で提供し、地域の誰もが参加できるスタイルで運営しましたが、参加者の数がなかなか伸びません。

●出前講座や子ども食堂で集客効果

そこで「集客のためには仕掛けが必要」と考えて、2年目から新たな企画を打ち出しました。そのひとつが「出前講座」で、保健師や医師による健康講座や、認知症サポーター養成講座を「カフェかきつばた」で開催しました。参加者は前年度の2倍に増加したといえます。



かきつばた全景

●地域のなかで法人の認知度がアップ

8月10日に開催された子ども食堂取材させていただきました。今回も大網ロータリークラブからお米、卵、野菜、果物などたくさんの食材が寄付されました。今日のメニューはオムライスや焼きそばなどで



ボランティアスタッフのみなさん

すが、調理ボランティアの多くは大網ロータリークラブの会員の奥様方です。

今回の子ども食堂では、親子参加型の「認知症サポーター養成講座」が開催されました。受講した小学生の男の子は「認知症のことは全く知らなかったけれど、よくわかった」と言って、うれしそうにオレンジリングを腕につけました。

おなかいっぱい食べた後はスライムづくりやダンス、ゲームで盛り上がり、75名の参加者は満足して帰路につきました。

認知症カフェや子ども食堂の取り組みの成果としてまず挙げられることが、法人の事業について、地域の認知度や理解が深まったことです。たとえば、開設以来、赤字経営だった小規模多機能型居宅介護事業所が黒字に転換しました。

また、取り組みの様子をホームページやフェイスブックにアップしていますが、就職活動中の方が閲覧して「こんな地域貢献活動をしている法人で働きたい」と興味を抱いて、応募してくるケースが増えているそうです。

こういった目に見える成果が得られたことが、取り組みに携わっている法人の職員のみなさんのやりがいや自信にもつながっています。



大網ロータリークラブのみなさん

なぜ人と人は支え合うのか

～第45回県民福祉セミナー～



日 時：令和元年11月14日(木)
14:15～15:45

※本セミナーは、第69回千葉県社会福祉大会終了後に引き続き、同会場で開催するものです。千葉県社会福祉大会の進行状況により、開場時間に変更になる場合がありますので予めご了承ください。

場 所：千葉県文化会館 大ホール(JR本千葉駅から徒歩10分
千葉都市モノレール県庁前駅から徒歩約7分)
ホールには駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。

- 主 催：社会福祉法人千葉県社会福祉協議会
- 対象・定員：1,500名(先着順)定員を超え、参加できない場合はホームページにてお知らせいたします。
- 内 容：講演：なぜ人と人は支え合うのか「障害」から考える
講師：渡辺一史氏 (ノンフィクションライター、映画「こんな夜更けにバナナかよ」原作者)
- 参加費：無料
- 参加方法：所定の参加申込書にて、11月1日(金)までにFAXまたはホームページの参加申込フォームからお申し込みください。
- 申込・問合せ先：社会福祉法人千葉県社会福祉協議会
地域福祉推進部 担当：飯塚、窪田
TEL 043-245-1102
FAX 043-244-5201
URL: <http://www.chibakenshakyo.com>



参加申込フォームはこちらから→

「動けば変わる」福祉教育は地域づくりの原動力！

～千葉県福祉教育研究大会～



8月20日(火)、淑徳大学・千葉キャンパスで「令和元年度千葉県福祉教育研究大会」を開催し、千葉県内から学校関係者や市町村協職員、地区社協関係者など250名が参加しました。

午前中のプログラムでは、宮崎県にある日向市社会福祉協議会の成合進也地域福祉課長より「地域+学校+福祉教育=未来の地域人の育成」と題して、基調講演を行いました。

日向市内の大王谷学園校区では、地域貢献学習を取り入れた福祉教育プログラムに取り組んでいます。大王谷学園校区では、学校がめざすキャリア教育(※「一人前の地域人」の育成)と社協がすすめる地域を基盤とした福祉教育の実践を結びつけることで、子どもたちが「知ってる」、「楽しかった」、「良かった」など、受け身で終わる福祉教育ではなく、能動的、積極的、主体的に学ぶプログラムの企画・構成を行っています。地域貢献学習を取り入れることで、子どもたちに暮らしている地域に関心を持たせ、自らの「気づき」、「考え」、「動く」、そして「また考える」ことの連続が福祉教育の学びのひろがりや深まりが期待できると話していました。これまで大王谷学園校区では、子どもたちが自ら選択・決定した地域課題解決のため、101の地域福祉活動実践に取り組んできました。子どもたちは、自らが動いた「錆付いた手すりのペンキ塗り」や「危険な場所のフェンスの設置」などの結果を通して、「人の役に立つ喜び」、「できる実感」を感じています。子どもたちに「動けば変わる」を実感させることが、子どもたちの主体性を育む福祉教育につながっていると話してくれました。

基調講演後は、千葉県福祉教育推進連絡会議の松山議長(順天堂大学准教授)が進行役となって、成合地域福祉課長と千葉県福祉教育推進連絡会議委員によるトークセッションが行われ、学

校・地域・社協の立場から地域貢献学習を取り入れた福祉教育の魅力と課題について意見を交わしました。

午後は、3つの分散会に分かれ、福祉教育推進校・推進団体として指定を受けた小・中・高校及び地区社協が3年間の取組みに関する実践発表を行い、学校と地域が連携して福祉教育を進める取組みについて熱心に研究協議が行われました。

※一人前の地域人・・・様々な地域・保護者との触れ合いや体験活動等をおして、「私たちの住んでいる日向市や大王谷地区を見つめ直し、学習し、地域のことを知り、地域を大切に。」さらに、「地域のために何かをしよう」というより高い目標設定ができたとき「一人前の地域人」として活動することができる。

今すぐ使える！ ～授業で使える～ 福祉教育プログラム集(障害編)



千葉県社会福祉協議会では、学校関係者や福祉関係者等による「千葉県福祉教育推進連絡会議」を設置し、福祉教育の推進に取り組んでいます。同連絡会議では、千葉県独自の「福祉教育パッケージ方式」の考え方や進め方をわかりやすく説明した「福祉教育ハンドブック ACCESS & SUCCESS」(改訂2版)に続き、学校の授業で活用することのできる、障害分野に関する福祉教育プログラム集を作成しました。

プログラム集には8つのプログラムを掲載しており、基礎的プログラムでクラスの友達との関わりや学校の環境をより良くすることなど身近なことについて考え、発展的プログラムで障害を持つ人たちの抱える困りごとについて気づき、自分たちでできることを考えることができる内容となっています。

以下の千葉県社会福祉協議会のホームページからダウンロードすることができますので、福祉教育の実践にぜひ活用してください。
<http://www.chibakenshakyo.com/info.php?cate=vol1&id=2019040315335741>

社会福祉施設 経営相談専門家相談カレンダー(2019年)

月	会計等 (税理士・公認会計士)	労務等 (社会保険労務士)	法律 (弁護士)
9月	2日(月)・17日(火)	4日(水)・26日(木)	11日(水)・25日(水)
10月	7日(月)・21日(月)	2日(水)・16日(水)	9日(水)・23日(水)
11月	5日(火)・18日(月)	7日(木)・20日(水)	13日(水)・27日(水)

●要予約。一般相談・予約は☎043-245-4450 社会福祉施設経営相談室まで
●詳細はお問い合わせください。 **秘密厳守・相談無料**



千葉県運営適正化委員会 電話043-246-0294
メール support@chibakenshakyo.com FAX 043-246-0298
【受付時間】平日9時～12時、13時～17時(土日祝日・年末年始を除きます)
※来所面談は予約制です。事前にご連絡ください。メール、FAXも可。